



ドレミファソ〜
 良い音色じゃのう!

鍵盤ハーモニカの
 製造現場に潜入!



全国の小学校で使用されるメロディオン
 の総販売本数は、2000万本以上にも
 なるのじゃ。これは、地球を約4分の
 1周する計算になるのじゃ(1本あたりの
 全長を長さ44センチとして計算)。

鈴木楽器の
 メロディオンを紹介するのじゃ!
 懐かしいのう!



メロディオンの音色の記憶は、今、世界に広がる

浜松発 日本が誇る 教育楽器作りの 先駆者



株式会社 鈴木楽器製作所



リコーダー、タンブリン、トライアングル…さまざまな
 教育用の楽器を製造しているのじゃよ。



メロディオン専用の自動調律機は、自社開
 発したものなのじゃ。まさに、Made in 浜
 松の精神じゃな。製造工程を見たいと、毎
 年多くの小学校から社会科見学の申し込
 みが殺到するそうじゃ。



びつくりじゃ!

鈴木楽器製作所の鈴
 木さん…ここにもスゴ
 イ鈴木さんがいたの
 じゃ!音を正確に聴き
 分けられる鈴木富士
 夫さんは、すべてのメ
 ロディオンの最終検
 査をするスペシャリス
 トなのじゃ。

設立は1954年。最初はハーモニカ製作メー
 カーとして成長していったのじゃよ。現在で
 も鈴木楽器製作所の「魂」はハーモニカ製造
 にあるのじゃ。その品質は世界屈指なの
 じゃよ。国内外の著名なアーティストがこ
 そって使用しているのもうなずけるのう。



最近のヒット商品がこちら「トレ
 モロハーモニカの扉」。ハーモニ
 カ、演奏解説ブックレット、お手本
 演奏CDが付いた、体験入門パッ
 ケージセットじゃ!しかも価格は
 3,675円!リーズナブルじゃのう。



株式会社 鈴木楽器製作所

浜松市中区領家2-25-12
 TEL.053-461-2325
<http://www.suzuki-music.co.jp/>

「あなたが初めて演奏した楽器は何で
 か?」この質問にしばしば記憶を遡って
 ほしい。着地点は、小学校低学年の記憶。
 ひょっとしたら、日本人のほとんどが
 「ああ、あの楽器かな」と辿り着くのかも知
 れない。そう、鍵盤ハーモニカである。スカ
 イブルーの専用プラスチックケース。開け
 ると鍵盤が登場し、立奏用の吸口とジャバ
 ラ型の卓奏用吸口が収められていて。軽
 息を吹き込めば、ポワワン♪とやさしい音
 色が脳裏に伝わってくる。そんな記憶を思
 い起こして、くれれば正解だ。

今なお、日本の音楽初等教育における必
 須ツールとして、愛され続ける鍵盤ハー
 ニカ。これもまた、音楽のまち・浜松市が発
 祥である。生みの親は、中区領家にある鈴木
 楽器製作所。1961年、創業者・鈴木萬司
 氏と社員が一丸となり、世界初の鍵盤ハー
 モニカ「メロディオン」を誕生させたのだ。

昨年、創立60周年を迎えた鈴木楽器製作所
 は、ハーモニカ製造に起源を持ち、メロディ
 オンに代表される教育楽器全般、オルガンの
 代名詞「 Hammondオルガン」の製造で知られ
 る企業である。近年では、電子楽器や大正琴、

教育用コンピュータソフトの開発にも力を
 入れているそう。企業理念は「Made in
 浜松」の楽器作り。そして、楽器作りからつ
 ながる「夢」と「創造」のカタチを追及し続
 けること。

日本人の多くが経験する「初めての楽器」
 の文化は、現在、アジア圏を中心に評価が高
 まっている。鈴木楽器製作所は、浜松発・日
 本が誇る楽器作りの先駆者として、さらなる
 成長を遂げているのだ。目指す先にある
 のは、楽器を通してつながる記憶の共有。世
 界中の人たちが思い起こす「メロディオン
 の音色の記憶」である。



*取材は家康くんが出家中に行ったものです。